資料２

元素戦略プロジェクト＜研究拠点形成型＞
中間評価結果を踏まえた対応について

中間評価において、「各研究拠点の進捗状況等を踏まえ戦略的な予算配分を行い、効果的な研究推進体制を再構築すべき」、また、構造材料研究拠点については「電子論から物質創製・解析評価に重点を移し、これまでに得られた成果をフィードバックした研究展開を推進するための研究体制変更を行うべき」、との指摘がされていることから、平成２８年度以降の研究体制、推進方策について、各研究拠点において以下のとおり改めることを予定している。

①電子材料研究拠点（東京工業大学）

研究体制の構築から、材料候補の絞り込み、実用化研究の開始へと発展（特段の体制変更はなし）。

②磁石材料研究拠点（物質・材料研究機構）

電子論グループ内の研究分担を見直し、これまで物質・材料研究機構（ＮＩＭＳ）等の拠点研究員等となっていた研究者について、それぞれの所属機関を再委託先とし責任関係を明確にする。

③構造材料研究拠点（京都大学）

電子論から物質創製・解析評価に重点を移した研究体制とするため、各グループのグループリーダーを京大内に集約するとともに、企画マネージメント機能については産業界との橋渡しをＮＩＭＳが支援する。また、これまでＮＩＭＳの立場で参画していた材料創製担当ＰＩについて、その本務先である九州大学を再委託先に追加して責任関係を明確にする。

④触媒・電池材料研究拠点（京都大学）

触媒、電池の責任者を明確にするため、電池担当の副拠点長を設置するほか、ＰＩが所属する機関を再委託先に追加して責任関係を明確にする。

（参考）再委託先の変更について

②磁石材料研究拠点（物質・材料研究機構）

ＮＩＭＳ	→	ＮＩＭＳ
東北大		東北大
産総研		産総研
東大理学系		東大理学系
東大物性研		東大物性研
京大		京大
ＫＥＫ		ＫＥＫ
ＪＡＳＲＩ		ＪＡＳＲＩ
名工大		名工大
		北陸先端大
		東工大

③構造材料研究拠点（京都大学）

京大	→	京大
阪大		阪大
東大工学系		東大工学系
ＮＩＭＳ		ＮＩＭＳ
産総研		九大
原子力機構		
ＪＦＣＣ		
東大物性研		

④触媒・電池材料研究拠点（京都大学）

京大	→	京大
東大		東大
分子科学研究所		分子科学研究所
		九大
		熊本大